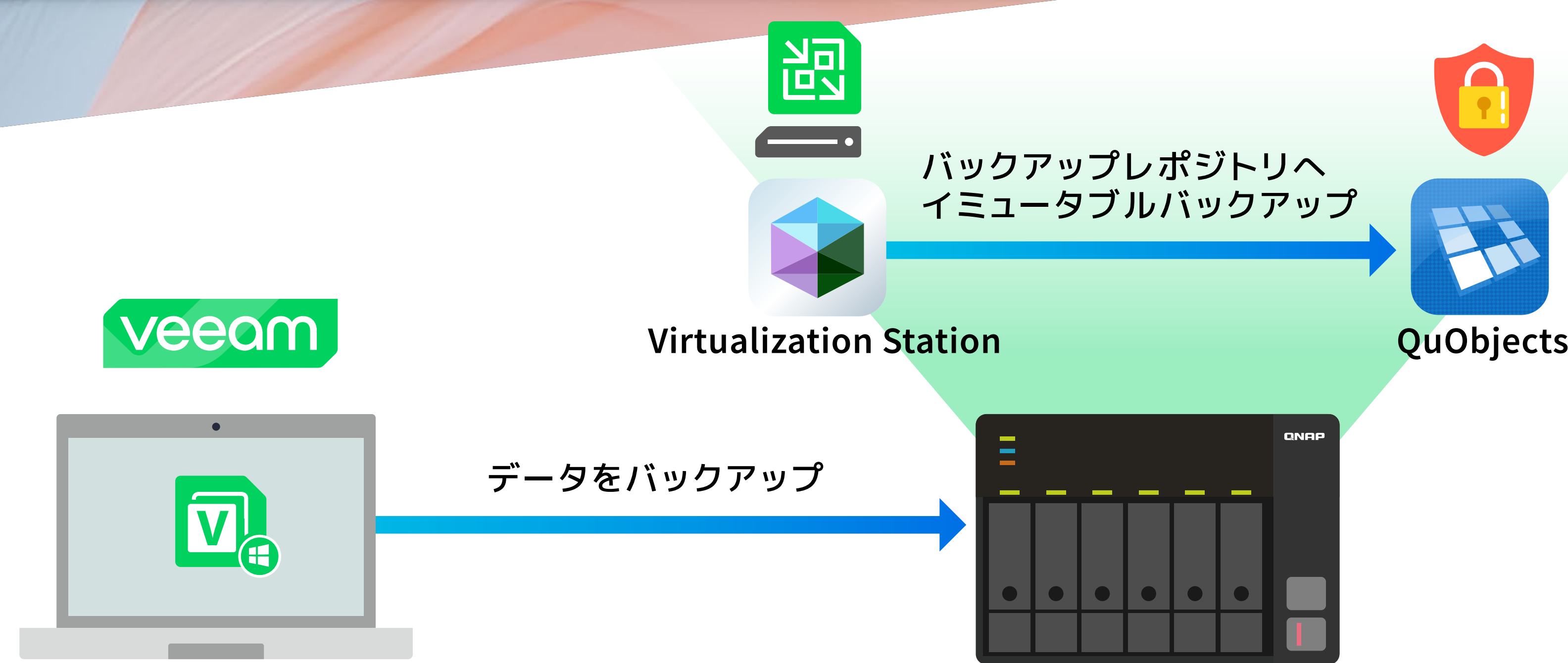


# 仮想化による アプライアンス サーバ



## 必要な機能を仮想 マシンを使ってサポート



QNAPのNASでは、仮想マシンを動かす仕組みである“Virtualization Station”をサポートしています。仮想マシンを活用することで、Windowsでしか動作しないバックアップマネージャーなどを動作させることが可能です。バックアップマネージャーとバックアップ先のストレージが同じNAS上に存在するので相性抜群です。動かすソフトウェア次第でRPA(Robotic Procedure Automation)サーバーや、VMSとして活用可能。NASの活躍の幅を大きく広げることができます。



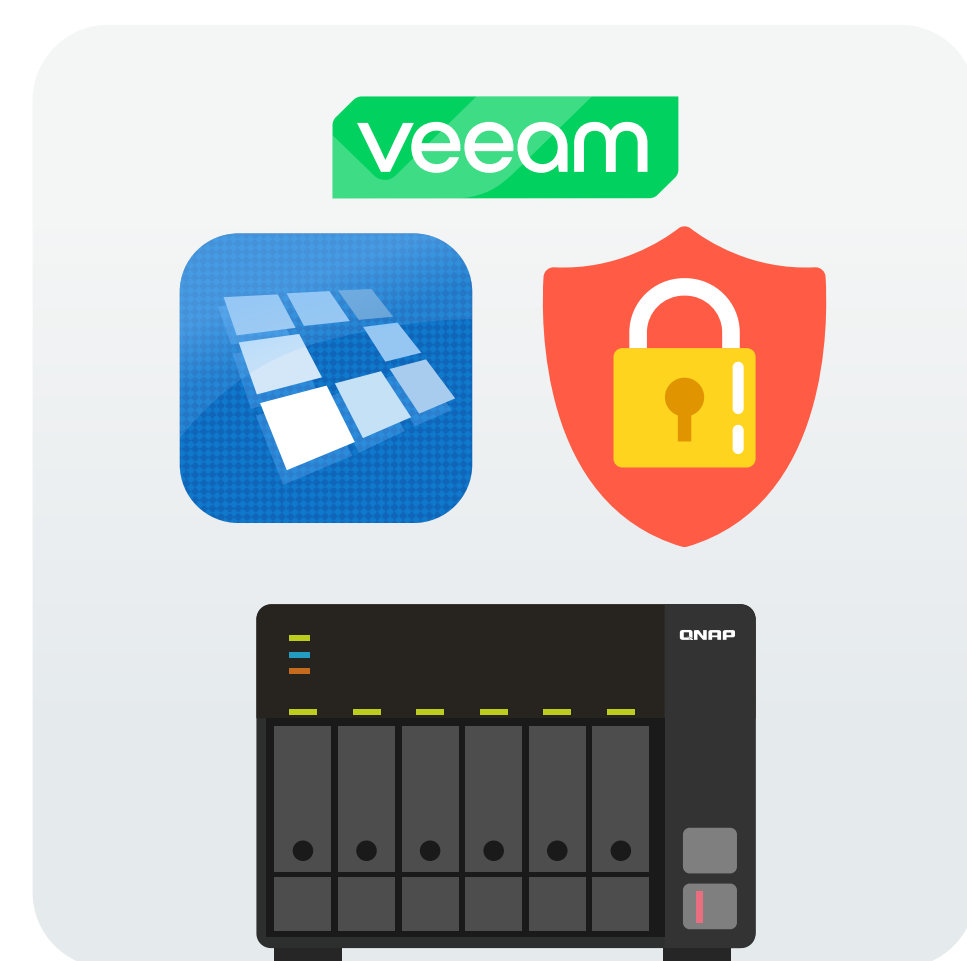
### 用途によって 選べる仮想化方法

QNAPのNASは仮想マシンを動作させる完全仮想化とコンテナを使った準仮想化をサポート。Linuxを使ったアプリケーションであれば、コンテナを使って簡単に環境を用意することができます。また、完全仮想化ではイメージをそのまま他のNASに移動することも可能でハードウェアのメンテナンスサイクルから切り離れたシステム運用が可能になります。



### 最適化された仮想 マシンのパフォーマンス

仮想マシンを構築する際にVirtIOを選ぶことで、NAS上で仮想マシンを動かすことのパフォーマンスメリットを最大化。IDE、SATAといったプロトコル上のパフォーマンス最大値に縛られることなく、仮想マシンを稼働させることができます。



### イミュータブルバックアップ

バックアップデータの変更を禁止するイミュータブルバックアップをVeeam Backup & Replicationと QuObjectsで実現。万が一ランサムウェアによって暗号化攻撃された場合も、バックアップデータの改変を防ぎ、バックアップデータを守ります。



### 仮想化による アプライアンスサーバ

一昔前のOSを使っている基幹システムを仮想化したり、一般的なVMS(Video Management System)を動かしたり、コードのバージョン管理システムを動かしたりと、好みの機能を追加することができます。気軽に“皆様だけ”のアプライアンスサーバーとしてご使用いただけます。



お問い合わせ

QNAP株式会社

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-20-1 ステーションポートタワー6F

QNAPはいつでも、事前の通知なしに仕様と製品詳細を変更することができます。  
QNAPおよびその他QNAP製品の名称はQNAP Systems, Inc.の登録商標です。  
本書に記載されているその他の製品と社名は各所有者の商標です。

# QNAP